

感謝の心で最後まであきらめず、仲間と力を合わせ熱中! ～地区中体連でも「主体的・対話的で深い学び」の姿が見られました～

6月7日(金)から3日間の、第46回中頭地区中学校体育連盟の夏季総体では、本校から13種目の参加がありました。3日(月)の選手激励会では、「全力で大会に挑み、持てる力を全て出し尽くし仲間を信頼しチームで闘う」感動プレーを期待し、学校長等から激励がありました。

今大会での学びを一つ。それは、あいさつや校歌、給食準備、掃除、休み時間、登下校など学校生活の場も含め、**部活動も「主体的・対話的で深い学びの場」**つまり、大切な学びの機会だということです。

例えば、清掃一つとっても「よりきれいにするには?」「みんなが気持ちよく生活できるためには?」「友達とうまく分担するには?」と主体的に課題を見つけ、**自問自答しながら学んでいます。つまり「問い」を持ち試行錯誤しながらも失敗からも学び、より工夫し自己決定、自己選択することにより深い学び、つまりプレーへとつながっています。**

子ども達は勝ち負けを越え、逆に**敗けた試合から多くのことを学ぶなど、未来のAI時代でも通用するホノモノの学力(主体性や問いを持てる等)を身に付けつつあると感じました。**

- **男子卓球**→団体戦:3勝1敗で1位通過 決勝トーナメント5位
個人3位:井出 翔也(2-5) 個人ベスト8:桃原 弘斗(1-4) ***県大会確定**
- **女子卓球**→団体戦:2勝1敗で2位通過 決勝トーナメント6位
個人優勝:嘉陽田 滯(1-1) 個人3位:桃原音(3-1) ***県大会確定**
*男女とも団体、アベック***県大会確定**
- **男子ソフトテニス**→団体戦:優勝 もちろん県大会確定 団体、個人含め圧巻の完全勝利
個人優勝:幸地 勇樹(3-1) 玉那覇 啓斗(3-1) 準優勝:宇座匠 真(3-1)平田 琉矩(3-1)
3位:宮城 諭(3-1) 玉那覇 啓斗(3-1) 3位:山城 弘樹(3-1) 砂川 龍輝(3-1)
***県大会確定**5名
- **男子バレー**→vs普天間中 2-0 vs山内中2-0 美東中 0-2敗戦 ベスト4
***県大会確定** 西中とは互角の勝負。自分達でどう戦略的なプレーができるか。日頃の練習から質の高い連携プレーが問われる
- **女子バレー**→1試合目 vs西原 0-2 敗戦
2試合目 vs嘉手納 2-0 勝利 宮里中0-2敗戦 少ない3年生を感じさせない奮闘!好プレー
- **男子バスケ**→vs読谷 19-62 敗戦 優勝候補と激突。個々の能力は申し分なく高かった。
- **女子バスケ**→vs具志川 42-40 2点差に競り勝ち勝利 vsあげな 33-60 vs中城 41-62
自分達で考えるプレーを貴く!
- **野球**→vs中城 0-3 敗戦 一回裏の1ヒット1失点のみ
成長著しい、引き締まった満足の内容のゲーム
- **サッカー**→vs石川 0-5 敗戦 前半はフリーキックでの1失点のみで押さえる。
後半攻めの布陣で納得の上での失点で悔い無し。お見事!
- **女子バドミントン**→団体戦:1回戦 vs与勝緑ヶ丘
2回戦 vs美里 敗戦 優勝候補美里中と堂々と対戦。次年度につなぐ
- **空手**→西原睦貴 対沖縄東 勝利
ストロング ショーン 琉 対中城中 敗退
西原 睦貴 強豪、沖縄東中に勝利1回戦突破 2回戦シード高江洲中に惜しくも敗退
- **硬式テニス**→宮城洸弥 ベスト8進出 今週15日(土)にベスト4かけて対戦予定
長崎寿啓 ベスト16進出 真志喜中にファイナルセットの末、惜しくも敗退

【メーリングサービス登録】

*生徒の活躍状況やHPの新着情報、台風、津波など、危機管理時に



【本校ホームページ】

*QRコードにて、カラー版の学校だよりや、その他、情報満載です!



令和元年度 学校経営全体構想図



本校がめざす教育像の重点

未来を拓く 大人になるための学校：感謝の心で「あいさつ・返事・あとしまつ」夢・目標

<学校像>	<生徒像>	<教師像>
<p>○あいさつ（率先礼） ○凡事徹底（時・場・礼） ○かなまる会の推進（かなボラ）</p>	<p>○主体的に学ぶ生徒（自己調整力） ○自他共に大切にする生徒（対話） ○自己の責任を果たす生徒（清掃）</p>	<p>○生徒の良さを認め・褒め・価値づける教師（和顔愛語） ○信頼される教師（厳しさと言語環境）</p>
<p><small>*未来を拓く主体性のある人間（大人）とは、常に前向きな姿勢で未来に夢や希望をもち、自主的に考え、自律的に判断し、決断したことは積極的かつ誠実に実行し、その結果について責任をもつことができる人間。将来、どのように社会や世界と関わりよりよい人生を送るのか、社会的自立を目指す。</small></p>		

かなまる会の推進

生徒や保護者・地域の実態及び*時代の要請に応じた特色ある「教育課程」の編成と実践を通して、「信頼される学校」を目指す。

*「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を生徒たちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。

本年度の指標（重点：確かな学力の向上 **主体的・対話的で深い学び**）

確かな学力の向上 【知育】勉強一動	豊かな心の育成 【徳育】友達一動	健やかな体の育成 【体育】健康一動	信頼される学校づくり 【勤労】貢献一動
<p>○目標や目的意識を持ち、自己調整しながら主体的、自律的に学べる。 <small>*家庭学習の習慣化</small> ○傾聴等による対話や、深い学びを通し、問題発見・解決能力や自立（率）心や主体性を持てる。</p>	<p>○あいさつ・対話・清掃など自他を尊重し、互いに支え、高め合える。 ○仲間と「想いや願い」を共有するなど、よりよい人間関係が築ける。 <small>*自制し生きていくことができる自己を確立する。</small></p>	<p>○自立心や自律性を高め、基本的な生活習慣（規律ある生活）を身につけ、心身を鍛える。 ○命や心身の健康安全に努め、互いのよさや可能性を発揮し、自己指導能力により危険回避ができる。</p>	<p>○かなまるボランティアや部活動など清掃、片付け、勤労を愛し、自主的・実践的に、仲間と協働し課題解決活動に取り組む。 ○話し合いによる合意形成や、意志決定ができる。</p>
<p><small>*「自立した人間」としての自己は、他者との関わりの中で形成</small></p>		<p><small>*生徒一人一人が、よりよい社会や幸福な人生を切り拓いていくための力</small></p>	

本年度の具体的な目標

<p>○「問いが生まれる授業」等の充実により「確かな学力」の向上を図る。 →実践的指導力を高める学推・校内研</p>	<p>○「学級経営」「学年経営」「特別活動」「道徳教育」「特別支援教育」等の充実により「豊かな心」の育成を図る。</p>	<p>○「基本的な生活習慣（睡眠）」「部活動の活性化」等の充実による「健やかな身体」の育成を図る。</p>	<p>○つながる東中学生育成会「かなまる会」等により「信頼される学校」づくりを推進する。</p>
--	--	---	--

「東中カリマネ⑦」カリキュラムマネジメントによる経営の推進

<p>① 教科横断的な教職員間等での合意形成や共有化 →『何ができるようになるか』『何を学ぶか』系統性 <small>*主体的に学びに向かう力の育成：自己調整力</small> → 学年会を核にした学力向上等、教育課程の推進</p> <p>② 単元目標と関連づけられた授業計画と授業改善 →『どのように学ぶか』、題材配列表の機能化と日々の授業や単元ごと『何が身に付いたか』のか等評価活動の積み上げ</p> <p>③ 指導と評価の一体化による取組・実践の確認 → 教師が指導の改善に生かし、学習の成立を促すための単元計画による見通しを持った評価活動の工夫 <small>*評価のための評価に終わることなく、教師が生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、生徒が学習したことの意味や価値を実感できる</small></p>	<p>④ 本校の生徒の実態と連動した授業研究会 → 確かな生徒理解による子どもの実態（課題）の解決を図る授業研究</p> <p>⑤ 短期スパン、中期スパン、長期スパンの点検・評価 → ミドルリーダー（各主任）を軸に企画運営委員会、生徒指導・教育相談部会、学年会・教科会が連結し機能化 → 週案等による相談・連絡・報告</p> <p>⑥ かなまる会、評価の共有化と活用 → チーム東中の成果や伸びを認め、子どもと教師、保護者を励まし、関係者が喜びを共有する学校評価活動。</p> <p>⑦ 当事者意識と主体性を持ったカリキュラムの実施 → 学校づくりのパートナーである保護者や地域（関係者）も含め、当事者としての意識向上。</p>
--	---

*①学習目標を設定できる ②学習の進め方を試行錯誤し、見直ししながら取り組める ③自分や仲間の学習の過程を振り返り評価 ④自己の成長を実感できる *自分の思考や行動を客観的に把握し認識「メタ認知」能力等 *学習の基盤となる資質・能力→言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等

～つながる東中学生育成会～



○学校・保護者・地域住民及び関係者が「学校教育目標」や「めざす生徒像＝自立貢献」を共有し、**地域ぐるみ**で子ども達を教育（郷育）していくことを目指しています。

*かなまる尚円王(金丸)由来の地、本校に学ぶ生徒を、将来の地域・社会の担い手である金の卵として支え・囲む